



「御絵伝」10 の場面

<第一幅>

- ①上人のご誕生 (1415 年)
- ②お得度 上人 17 歳
- ③「ご文章」の作成
- ④北陸地へのご教化
- ⑤山科の地寄進 上人 64 歳

<第二幅>

- ①山科本願寺の建立
- ②御真影さまご安置
- ③上人夢告と大蛇教化
- ④大坂御坊の建立 上人 75 歳
- ⑤ご往生 上人 85 歳
山科本願寺にてご往生
(1499 年)



第一幅

第二幅

機関誌 山科さんで開催
情報並びに開催報告を掲載
させていただきます。
開催に関するお問い合わせは、本願寺
山科別院寺務所までお尋ね
ください。

今年(2019 令和元)年 10 月 4 日(金曜日)午後 1 時より崇敬区域の蒲生上組信楽寺において開催されます。

蓮如上人御絵伝奉懸のつどいは、平成 27 年 11 月、ご門主さま・前門様の御出座をいただいで蓮如上人ゆかりの山科別院において蓮如上人ご誕生 600 年記念法要をご縁に永年懸案でありました蓮如上人御絵伝を作成、この御絵伝を崇敬区域の組・講社・ご寺院に巡回し蓮如上人のご苦勞と今日の寺院の基礎を築かれたましたお礼を申しあげ、ご法義繁昌、お念仏興隆に資するため「蓮如上人御絵伝奉懸のつどい」を本願寺の許可を得て平成 30 年度より企画開催するのであります。

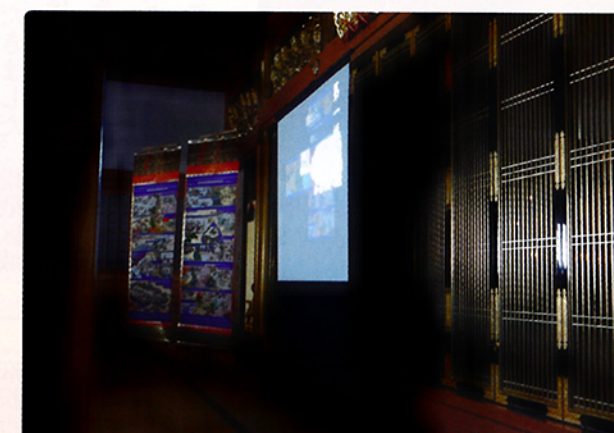


山科別院二十五日講愛知下部講長 森野宏一さん

また、プロジェクターを使って、御絵伝の解説をし、その後本願寺派布教使 森 直道師よりご法話をいただきました。
最後に御絵伝奉懸のつどい開催にあたり、山科別院二十五日講愛知下部講長 森野宏一さんよりお礼のご挨拶がありました。



森 直道師による法話



御絵伝解説風景

1475年(文明7年) 61歳	越前吉崎をご退去、若狭小浜・丹波・摂津を経て河内出口に到着される
1477年(文明9年) 63歳	「御俗姓」を書かれる
1478年(文明10年) 64歳	山城山科に坊舎の造営を始められる
1480年(文明12年) 66歳	御影堂に御真影を移す
1481年(文明13年) 67歳	阿弥陀堂に本尊安置する
1489年(延徳元年) 75歳	寺務を実如上人に譲られる
1496年(明応5年) 82歳	大阪石山の御坊を建立される
1499年(明応8年) 85歳	ご往生 (3月25日・新暦5月14日)

1415年(応永22年)	ご誕生 (2月25日・新暦4月13日)
1431年(永享3年) 17歳	お得度
1457年(長祿元年) 43歳	父存如上人(第7代)ご往生、本願寺第8代をご継職
1458年(長祿2年) 44歳	実如上人(第9代)ご誕生
1460年(寛正元年) 46歳	「正信偈大意」を著される
1461年(寛正2年) 47歳	初めて「御文章」を書かれる 宗祖親鸞聖人 200 回忌
1465年(寛正6年) 51歳	延暦寺の衆徒、大谷本願寺を破却(寛正の法難) 大谷の地をご退去、近江へ向かわれる
1471年(安永3年) 57歳	越前吉崎に坊舎を建てられる
1473年(文明5年) 59歳	「正信偈和讃」を刊行される

蓮如上人略年譜



去る 4 月 7 日(日)にお釈迦様のご誕生をお祝いする「花まつり」が、本願寺山科別院で盛大に執り行われ、午前 10 時より、山科別院本堂にて灌仏会の法要が勤修され、ボーイスカウトの子どもたちによる献花・献灯や松林雅楽会による奏樂も行われました。
また、法要後には、お釈迦様に甘茶をかけたリ、ボーイスカウトや地域の子どもたちによる白象引きを行い天候にも恵まれ、子どもたちも終始満面の笑みで白象を引いており、沿道を歩く人々も子どもたちが白象を引く可愛らしい様子に足を止めて白象引きを観望しました。

本願寺山科別院 花まつり